

★★★★★ どの子も、子どもは星。 東井（とういよしお/ぎゆう）義雄先生 の遺したお言葉★★★★★

「行動はしあわせへの近道」・日々の小さな行動こそが「志」を保つ近道・・・

◆ 「自分をつくっていくということは、一秒一分でもだいにすることだ。」 ◆

【解釈】一秒を大事にし、使ってこそ豊かな人生が送れる。

あすがある。

あさってがあると考えている間は、

なんにもありはしない。

かんじんの

「今」さえないのだから・・・。



《東井 義雄（とういよしお/ぎゆう）プロフィール》

•1912.4.9～1991.4.18

•日本の教育“教育界の国宝”と称えられた伝説の小学校教師。
浄土真宗東光寺の僧侶にして偉大な教育者。

•「家庭」「学校」「地域」が手を携えて、子どもの「感じ方」「考え方」「行い方」を磨き、全ての人やあらゆる生き物の命の教育を探求。

◆ 「人生を一日にたとえる」と・・・ ◆

たとえば、人生72年生きるとします。

それを24時間で割ります。

$$72 \div 24 = 3$$

自分の年齢(例:17歳)を3で割れば

$$17 \div 3 = 5 \dots 2$$

あなたの人生が一日のうち何時に
さしかかっているかがわかるのです。

17歳の場合:午前5時40分になります。

※余り(…1)の場合は、20分です。

脳トレで脳の活性化に役立ちましたか。

◆ 「運命を変える」 ◆

- ① 言葉 が変われば 考え方 が変わる。
- ② 考え方 が変われば 心 が変わる。
- ③ 心 が変われば 行動 が変わる。
- ④ 行動 が変われば 習慣 が変わる。
- ⑤ 習慣 が変われば 性格 が変わる。
- ⑥ 性格 が変われば 出会い が変わる。
- ⑦ 出会い が変われば 人生 が変わる。



『人生のカケラ～心の花がひらくとき～』より抜粋

◆ 自分を育てるのは自分:自分は、自分の主人公。世界でただ一人の自分を造っていく責任者。 ◆

三浦しをん（直木賞受賞作家）ならマズコレ！！

- ① 「まほろ駅前多田便利軒」:まほろ市の便利屋の物語。主人公は多田啓介。そこに転がり込んだ元同級生の行天。そして、いろいろな依頼が舞い込む。(2006 直木賞) 土木科 田原 大輔先生コメント:ハマってしまい次々と読破。
- ② 「舟を編む」:玄武書房の辞書編集部は、新たな辞書『大渡海』の出版を企画する。中心となるのは、変わり者だが言葉に対して人並はずれた感性とこだわりを持つ馬締光也。しかし、『大渡海』を世に出すまでには、予想以上の年月が必要だった・・・。言葉という絆を得て、彼らの人生が優しく編み上げられていく。(2012 第9回本屋大賞)
- ③ 「まほろ駅前協騒曲」:4歳の「はる」を預かることになった多田と行天。バスジャック?に巻き込まれることに。
- ④ 「風が強く吹いている」:灰二の箱根駅伝を走りたいの想いが動き出す。風を感じて走れ「速く」ではなく「強く」。
- ⑤ 「本屋さんで待ちあわせ」:口を開けば、本と漫画の話ばかり。著者が本と本を愛するすべての人に捧げる。
- ⑥ 「きみはポラリス」:すべての恋愛は、普通じゃない。二人にしか見えない光。それが宇宙で一番輝く。
- ⑦ 「神去なあなあ日常」:平野勇氣19歳が高校卒業と同時に三重県の山村に。林業の現場に生きる勇氣と成長の1年。

※読んだ本・読んでいる本・積読本・読みたい本など、個人でデータを残すといいですね。

3学期スタートから1週間。「やる気」は、順調?

3学期の残り少ない日々、自分を成長させ、
唐工生みんなで、有終の美を飾って終わろう。

寒い季節は、読書が最高!

①～⑦の本、唐工図書館に
オンパレード。



心がやわらかく
最道に笑う時
心がやわらかく
最道に泣く時
心がやわらかく
心が若いです。
今 三浦しをん